

阿蘇草原保全活動センター

盆花摘みの伝統

阿蘇の草原には 600 種もの植物や花が生息しています。毎年 8 月（15 日ごろ）に、地元の人々はお盆を取り行います。お盆は日本人がその先祖の魂を家々に迎え入れ、彼らに供物を捧げる何世紀も続く行事です。家族は家の中に用意された特別な祭壇や死亡した親族のお墓に供物を捧げて、自分たちの先祖に敬意を表します。

阿蘇の人々はお盆行事に供えるために豊かな草原から野草を摘みます。草原は年々縮小傾向にあり阿蘇で見られる野草の種類や数も少なくなってきました。多くの植物が今や保護種であり、地元民も観光客も勝手に摘むことは禁じられています。お盆に花を摘む伝統は、人と自然との調和の取れた関係から生まれたものであって、地元民がこの特別な生息地に抱く敬意と理解から存続し続けます。